

選挙公報

午後8時まで投票できます

横浜市選挙管理委員会

「横浜の事は横浜で決める」

戸塚での25年の政治経験を活かし「2期目に無所属で挑みます」

無所属
あだち
足立ひでき

昭和40年1月14日横浜生まれ、平成元年選挙区変更により戸塚区に転居。16年間、男の修行、TV番組やCMなどの制作編集、サックス奏者の顔も、平成16年、参議院議員選挙スタッフとして市内にて活動。その後若年選出候補を支援し、平成22年、参議院議員選挙スタッフとして市内にて活動。平成23年4月横浜市議員選挙に戸塚区より初当選。認知症対策など福祉政策に取組む。この4年間地域に根ざり活動し、無所属で「住みやすい住み続けたい戸塚のまちづくり」を掲げ活動して参りました。

災害から命を守る強いまちづくり。地域住民がお互いを見守り気にかける関係を日ごとから作って行ける環境づくりを推進。

子供たちの育成、交流事業を応援。子供たちの「新しい発想と遊び心」を育成する。異なる互いの地域の魅力を体験し、子供たちの「新しい発想と遊び心」を育成する。他都市間での交流事業を応援します。子供を夢見る冒険者に、体力強化の環境づくり。

健康寿命世界一を目指し健康づくり施策の推進。地域同士で見守りあい誘い合う拠点づくりを。高齢社会における意欲創出、やりがいをもつながら、お互い様の気持ちでの活動へ更に支援拡充。

30年後には10人に1人が認知症に、ともいわれるこの早期発見予防を若い世代へ意識啓発、家族への心の平和のケアと医療介護従事者の尊厳の尊重。障がい者就業支援と社会参加の促進を推進。

文化・芸術・観光
人口370万人を超える日本の政令市横浜。今後の人口の年代比率や財政を考慮し、市民負担とならない観光収入取組を、一昨年の市内観光消費額が過去最高の3,195億円に「日本の顔・天下の横浜」に市内外からの来街者を招き入れるため、健全な文化芸術、歴史を堪能してもらえる魅力創出と発信を。

ハマ弁は再検証
導入された奥深い経験を考えればハマ弁は成功させるべきだが、市民の理解が得られないままでは撤退。前を向くため再検証を。

議員職務調査費の更なる透明化

立憲民主党 まっとうな政治「戸塚」から

戸塚生まれ 戸塚育ち!!

立憲民主党 公認
山浦 英太

子育て世代のサポートを充実
・誰もが公平に、栄養のバランスに優れた中学校給食を食べられるように取り組みます。
・英語教育を拡充し、国際社会で活躍できる人材を育てます。
・保育園待機児童、保育児童の解消を進めます。

カジノはNO&「脱原発」でエネルギー改革を!
・原発から再生エネルギーに転換し、地域産業の振興や雇用の増加に努めます。
・カジノより横浜らしい文化と経済で世界に飛躍! 横浜独自のひと・もの・文化を世界とつなぐ経済政策を進めます。

万が一の災害に備え防災・減災対策推進
・万が一の災害発生時に避難所として機能する地域防災拠点を増やします。
・首都直下型地震に備え、木造住宅やマンションの耐震助成を拡充します。
・液状化対策と盛土宅地の調査を進めます。

やまうら英太 プロフィール 1974(昭和49)年2月生まれ。日立幼稚園→東戸塚小→舞岡中 留学で磨いた国際感覚! グランドマキオン短期大学経営学部(カナダ)/オレゴン大学経営学部(アメリカ)卒業/グロービス経営大学院修士課程修了/サラリーマン時代は(株)ニトリで、出店や商品のマーケティングに従事。その後、横浜の保育園待機児童問題に直面する。「何とか解決したい!」転職を決意、以来横浜市認定保育園の経営に携わり13年間、浜っこの笑顔のために奔走する。現在は次世代幼児教育の開発へと幼稚園の現場で活動中!
□資格 保育士 □趣味 旅行・映画鑑賞・テन्दー □家族 妻(幼稚園教諭・保育士)長女の3人家族

カジノはいらない キッパリ誘致NO! 示す市議会へ

「カジノはダメ」の市民の声を押し、林市長はカジノ推進から「白紙」に。議会内の推進派も積極誘致を言えなくなりました。国会でカジノ実施法を強行した自民、公明、維新に厳しい審判を下し、カジノ誘致完全ストップ!

反対 79%

出来たてを、みんなが食べられる、自校調理の中学校給食の実現を

全国で当たり前に実施されている中学校給食を実現します。業者配達弁当「ハマ弁」の給食化ではなく、全国の豊かな給食実践に学び、最良の中学校給食を子ども達へおくりまします。

中学校給食 260億円 ←市予算の1.5%

税金の使い方を暮らし最優先へ

不要不急の大型開発 大企業優遇 1000億円

- 高い国保料引き下げ
- 危険な崖、ブロック塀対策
- 特養ホーム増設
- 生活道路、歩道、スクールゾーン整備
- 18歳まで医療費無料
- 市営住宅の増設
- 認可保育園の増設
- バス・公共交通充実
- 中小企業支援強化
- 敬老バスの継続
- 商店街リフォーム助成
- 再生可能エネルギーの促進

憲法9条活かす日本を 消費税10%中止で暮らし守る

市民と力合わせ
なんでも相談 積み重ねて25年
安心、便利な住みよい戸塚のまちづくり。に引き続き取り組んでまいります。
戸塚駅東口・バス路線混雑緩和とバリアフリー化
東戸塚駅・混雑緩和と安全対策

日本共産党
岩崎ひろし

女性のパワーで市政を前に

女性も男性も主婦も若者も高齢者も障がいのあるなしにかかわらず誰にでも活躍しやすい社会の実現を目指し活動しております。仕事子育て、義理の看病、様々なことありましたが、私が大変と感じた経験の多くは、ほかの皆さんも経験し、直面するものではないかと。あつたに困ったことをこれから困らないうように、小さなことから変えていきたいと思います。

高齢者・障がい者の安心・安全
「思いやり」「いたわり」を大切に、地域での孤立等を予防し、高齢者が元気で健康寿命の長い社会環境づくりに取り組み、また、障がい者に不便を感じさせない社会を実現します。

子育ては社会全体で応援を
子育て支援に関するネットワークづくり、切れ目ない子育て支援、安心して産み育てられる医療体制、保育園、こども手当の整等の政策を進め、児童虐待の未然防止や待機児童の問題等、時代の変化に対応した子育て支援に取り組みます。

安心・安全な教育環境を
校舎の建て替え(木質化推進)、貧困で進学を諦めない体制の拡充など、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境を整備し、誰もが安心して受けられる医療体制の実現。がん検診率50%達成、生体データの確認等により市民一人ひとりの健康チェックを進めます。

支援、放課後児童施設の充実。質の高い教育には、充実した環境・仕組みが必要です。小中学校のプログラミング教育の充実によるICTの活用で横浜の将来を担う子供たちを育てます。

どこでも、だれでも安心して受けられる医療を
高齢者施設の整備、在宅医療体制の拡充など、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境を整備し、誰もが安心して受けられる医療体制の実現。がん検診率50%達成、生体データの確認等により市民一人ひとりの健康チェックを進めます。

私たちも応援しています。
衆議院議員 さかい 学
参議院議員 島村 大
参議院議員 三原じゅん子

1968年生まれ。小学校でバレー、中学で水泳、高校でテニス部(部長)活発なスポーツ少女として育つ。高校卒業後、歯科医院に就職。20歳で結婚、仕事を続けながら長女を出産、次女出産を機に退職、ヤクルトレディに。勤務中は預かってもらえるシステムに大いに助けられた。子どもが熱を出した時は子どもをキャリアに入れて営業、やがてセンター長に。この頃、保育園では父母会長としても活躍。歯科医院復帰、チーフとして歯科医院に勤務する傍ら、島村大参議院議員の秘書業務にも携わる。2015年戸塚区より横浜市議員に挑戦、初当選(戸塚区自民党で初の女性市議員)。建築・都市整備・道路委員会 副委員長/健康づくり・スポーツ推進特別委員会委員/自民党横浜支部連合会政務調査委員等を歴任。

ずっと住みたいまち『とつか』 未来へつなげる幸せ

- ◆子育て世代、高齢者に優しい市政!
・保育士の待遇改善の推進
・保育園の受け入れ枠の拡大
・安心して子どもを預けられる環境づくり
・シニア世代、障がいを持つ方が暮らしやすい街
- ◆東戸塚駅の混雑緩和、安全対策!
・ホームドアの設置、ホームの拡幅
・安心して利用できる環境の実現
- ◆持続できる都市農業!
・市民の食生活を支える農業の育成
・食の安全や地産地消を推進
- ◆災害に強い街づくり!
平成時代は巨大地震と気候変動がもたらす災害が記憶に残る時代となりました。横浜も将来起こる南関東直下型地震に備え、消防局・消防団や地域の防災組織との連携を強化し安心して暮らせる街づくりを推進します。
- ◆横浜新道無料化!
横浜新道・第三京浜・横溝道路は3路線を合わせたプール制で収支計算しており、横浜新道も値上げを繰り返すばかり。更なる費用組み込みを認めず、横浜新道の無料化を目指します。

私たちが推薦しています
連合神奈川会長 柏木 教一
UAゼンセン神奈川支部長 新 敦

国民こくみん

身を切る改革、実行中。維新はやる!

議員報酬2割削減 議員定数削減 地方議員年金復活NO

高柳はこれをやる!

「介護・福祉」経験者の視点から改革します
①国民年金(平均受給額以下)で入居できる、また身寄りのない人が簡単に手続きで入居できる特養老人ホームの新設・改革を進めます。
②介護従事者の人材確保と待遇改善。休職看護士の復帰支援。現場のペーパレス化に取り組みます。
③高齢者の見守り・安全確認の強化。
④「教育・子育て」教育は日本維新の会の重点政策
①高等教育。私立高校に至るまで完全実質無償化。
②教員の働き方改革を、教育の質を向上。
③中学校給食の皆同一食事で保護者の負担を軽減。
④小・中学校の体育館・武道場に空調設備を設置。熱中症から子供を守るのは大人の責任です。
⑤海外の友好都市との間で青少年スポーツ・文化交流の推進。
⑥「防災・安全対策」大都市の横浜、対策が急務
①電柱を無くし電線の地中化を推進。
②防犯カメラの増設。
③災害時のペット対策も重要です。
④「環境・地域対策」明るく活気ある街づくり
①子供が安心して遊べる公園の整備。
②高齢者のために買い物テリパリーを推進。
③市営地下鉄の延伸。
④大猫殺処分ゼロを目指します。

高柳さかえ プロフィール 昭和28年6月生まれ。横浜育ち。桜葉林高校卒、東海大学海洋学部卒。開ツムラにて所長を務めた後、田辺三製薬㈱へ勤務。その後、参議院議員選挙のボランティア活動として政治活動に関わる。合気道、総合部は共に9段。【趣味、資格、特技】●釣り(海)、料理●認定整体師(併修)●全日本合気道連盟常務委員、全日原湘南支部副理事長、英信流合道連合会副会長兼顧問

推薦します! 松沢成文
応援します! 松井一郎 串田誠一

統一地方選挙 投票日 4月7日(日) 午前7時~午後8時

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を、そのまま写真製版によって印刷したものです。

選挙公報

午後8時まで投票できます

横浜市選挙管理委員会

現場第一主義！皆様の声を市政に届ける！
中島みつのは実現します！
「国と地方のネットワーク」で推進します！

- 子ども医療費助成を18歳まで拡充！
- 私立高校授業料の無償化 年収750万円世帯まで拡充！
- 公立小中学校の体育館にエアコン設置！
- 戸塚駅・東戸塚駅のホームドアの設置！

「一人の声」を大切にしてきました！

- 市民相談3000件以上、地域実績200件以上！
- 「犯罪被害者等支援条例」を制定！
- 人命と財産を守る「防災・減災」対策を推進！
- がん・アレルギー対策の充実！

主な実績

- 1970年2月18日生まれ 横浜育ち (49歳) ●1992年 関東学院大学二部経済学部卒業 ●1992年 ㈱プリズト販売会社に入社 2011年1月退社
- 2011年4月 横浜市議員 初当選 ●現在、公明党神奈川県本部宣伝局長、スポーツ推進プロジェクト事務局長、戸塚区サッカー協会会長 ●防災士

プロフィール

公明党代表
山口 那津男
参議院議員
佐々木 さやか
神奈川県食肉販売業
生活衛生同業組合 理事長
齋藤 武彦

中島みつのは 検索

http://nakajima-mitsunori.com/



公明党
中島
なかじま
みつのは

チャンスを
創る政治

誰の前にもチャンスを作るため
http://www.suzukitaro.com

【プロフィール】
昭和42年3月24日生まれ
県立光陵高校卒業
上智大学外国語学部卒業
三菱銀行(現・三菱UFJ銀行)入行
衆議院神奈川五区鈴木一誠の秘書
米国シラキュース大学情報大学院修士号取得
米国IT企業本社勤務
平成15年横浜市議員初当選、以来4期連続当選

私は4期16年間にわたり横浜市議員として新たな政策立案方法を模索してきました。横浜市民にとって意義のある市議員にならなければいけないと常に考えています。そうした思いから数々の議員提案による条例制定を実現してきました。条例を創れば政策が前に進むからです。

多くの政治家が、「頑張った人が報われる社会」が理想だと言います。私もそう思います。一方で今の時代は、頑張ろうにもその機会が乏しくなっていると感じています。だからこそ政治がチャンスを生み出さなければいけないのです。

大切なことは、誰の前にもチャンスを用意されていることです。そういう社会の実現を目指して参ります。

鈴木太郎 52歳



自由党
鈴木太郎
52歳

戸塚のために。 誠実な行動、確かな実績
みなさまの声を大切に活動してまいります！

実績

＜1期目＞

- 中学校テリバリ屋敷
- 落書き防止条例の制定
- ブルーライン快速運転導入
- 通信所跡地の有効活用
- 横断歩道設置やグリーンベルトの拡充

＜2期目＞

- 戸塚区周辺のバリアフリー化
- 戸塚駅東口バスターミナル内への横断歩道設置
- 戸塚区役所内エスカレーター新設
- 子育て支援、教育環境の向上
- 待機児童ゼロの取り組み継続
- 放課後キッズクラブの設置
- 小児医療費助成枠の拡大
- 地域包括ケアシステムの構築
- 市内ブロック塀の緊急改善要望

3つの街へ

- ◆ **安心・安全・快適に暮らせる街へ**
○ JRR戸塚駅・東戸塚駅のホームドア早期設置に向け取り組みます
○ 災害に強い都市づくりとして、防災・減災対策に取り組みます
- ◆ **福祉の充実と助け合いの街へ**
○ 地域包括支援センターと連携した在宅療養環境の整備を推進します
○ 障害者の就労支援や社会参加ができるよう環境の整備を推進します
- ◆ **安心して子育てできる街へ**
○ 待機児童ゼロおよび放課後児童施設の円滑な事業実施を推進し、子育て世代を支援します
○ 小児医療費助成制度の所得制限の撤廃を推進します

HP

坂本勝司
さかもと かつし
国民民主党公認 51歳

【経歴】
1967年 戸塚区生まれ
1986年 神奈川県立岡津高等学校卒業
1988年 株式会社 日立製作所 戸塚工場入社
2011年 横浜市議員 初当選 (現在2期目)

【現在】
市会運営委員会 副委員長、健康福祉・医療委員会、民権フォーラム横浜市議員団 副団長、他
神奈川県実業団バドミントン連盟 会長、神奈川県小学生野球連盟 副会長、他



電機連合公認
連合神奈川推薦
国民民主党公認
坂本勝司
さかもと かつし
51歳

税金の使い道は市民が決める！

カジノやハマ弁、オペラ劇場や「花博」誘致の話は出てくるけど、教室や職員室に担任が不在でいじめの相談もできない話や、教員不足で家庭科の授業ができずに成績がつかない話、貧乏な小学校給食の話、「保育園落ちた、生活どうしよう」と悩む親の話などは、市長の口から出てきません。

全国で約9割が実施している中学校給食は検討すらせず、ハマ弁にムダな税金をつぎ込む横浜市。この状況を変えられない横浜市議会。そんな横浜を変えていきたい、税金は市民のために使って欲しいと思い、市民の声を代弁できる無所属で立候補しました。

林市長は「カジノは白紙」といいながら、積極的な検討を進めています。2年近くカジノシールド投票を続けてきた結果は、15,000人以上が参加し86%が反対。市民の声を聞くべきです。

2年半で15億円以上つぎ込んでも、98%から支持されないハマ弁。教員に食べさせて利用率上げたり、廃棄前提の当日注文モニター3ヶ月で2,000食廃棄って、何やってるんでしょう。即刻中止しましょう。

歩道の整備されていない道路、バス停のすぐそばの横断歩道など、危険な場所が放置されています。歩行者や自転車、子どもや高齢者、障害のある人、誰にもやさしい街にしていきたいです。

年に一度しか草刈りされない市内の公園。自転車のタイヤが埋まるほど草は伸び放題。公園や図書館など、身近な公共施設の充実を求めます。

ゆみこ 無所属



ゆみこ
無所属

統一地方選挙

投票日

(市会・県会・知事)

4月7日(日)

午前7時～午後8時

投票日に、投票所へ行けない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。

期日前投票 4月6日(土)まで

区役所投票所 午前8時30分～午後8時
 臨時投票所 午前10時～午後8時